

2017年10月19日

各 位

会 社 名 宇部エクシモ株式会社
本社所在地 東京都中央区日本橋富沢町9番19号
問 合 せ 先 総務部長 多 田 厚 美
Tel 03-6667-2411

FRP パイプ『コンポーズ®』の実習用生簀杵への採用について

宇部エクシモ株式会社（社長：小塚健次）のFRP（繊維強化プラスチック）パイプ「コンポーズ®」が、香川県立多度津高校の養殖実習用の生簀に採用された。

「コンポーズ®」は、独自の連続引抜成形法で生産されるFRPパイプで、従来の金属パイプに比べて、軽量で作業性に優れ、錆びや腐食がなく耐久性に優れることから、水産用途では、養殖生簀杵をはじめ、海苔養殖支柱、牡蠣養殖筏、繫留支柱、ボンデンなどに幅広く使用されている。

近年、担い手不足に悩む漁業の現場では、人材確保のため、就労環境の安全確保が課題とされている。従来の養殖生簀杵は、金属パイプと足場板からなるフラット構造のタイプが主流であるため、足場の不安定な海上で経験の少ない者が作業するには、安全面で不安があった。

今回、多度津高校で採用された養殖生簀杵は、滑り止め加工を施したFRPパイプ「コンポーズ®」を用いたトラス構造の養殖生簀杵で、手すりが設置されるため、経験の少ない実習生でも安心して作業を行うことができると好評を博している。

また、軽量のFRPパイプと専用のジョイント部材からなるユニット式であるため、容易に組立、分解が可能で、金属パイプのように溶接作業の必要もなく、メンテナンス性の向上にも寄与する。

多度津高校は、幻の高級魚といわれる「サツキマス」の養殖に成功したことで注目を集めており、養殖技術を確立し、ブランドサーモン「ドリーム・チャレンジ・ジャンプ（DCJ）サーモン」として知名度向上を目指している。



「コンポーズ®」養殖生簀杵ユニット



養殖生簀実習風景 (写真提供：香川県立多度津高校)